



こころに残る景観資源発掘プロジェクト

こころに残る 歴史・文化 景観

特別編

岸和田市



目次

- P.02 こころに残る歴史・文化景観、特別編 景観マップ
- P.03 こころに残る歴史・文化景観
- P.06 こころに残る景観資源 特別編
- P.08 こころに残る歴史・文化景観応募者エピソード集
- P.09 こころに残る景観資源 特別編 応募者エピソード集
- P.09 こころに残る景観資源 これまでの指定資源一覧
- P.12 プロジェクトの系譜



北

西

東

南



岸和田城周辺部拡大図

【こころに残る歴史・文化景観】

- 1 旧和泉銀行本店
- 2 正覚寺の鐘楼と枝垂れ桜
- 3 杉江能楽堂
- 4 岸和田復活教会
- 5 自泉会館
- 6 威風堂々岸和田城
- 7 五風荘庭園と家屋
- 8 旧岸和田村尋常小学校校舎
- 9 久米田寺の多宝塔
- 10 世界かんがい施設遺産の久米田池
- 11 小金塚古墳

【特別編】

- 1 岸和田だんじり祭り 灯入れ曳行
- 2 朝霧に包まれた岸和田城
- 3 久米田寺行基参り
- 4 玉ねぎの碑
- 5 葛城踊り
- 6 もみいづる大威徳寺

こころに残る景観資源の見学にお越しの際は公共交通などをご利用下さい。

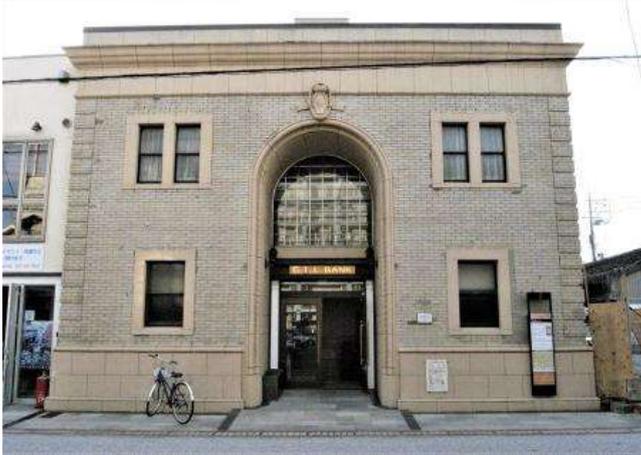
また、周辺の迷惑にならないよう管理者の指示に従うなどマナーを持って来訪して下さい。

01 旧和泉銀行本店

現在、国登録有形文化財に登録されている旧和泉銀行本店は、1933年に完成してから2004年までの間、多くの金融機関が入店し営まれてきた。所有者の変更に伴いリノベーションされ、商業施設として古い建物をうまく現代に活かされている、岸和田の歴史と文化を色濃く感じさせる景観となっている。



北町



02 正覚寺の鐘楼と枝垂れ桜

もとは紀州根来寺（和歌山県岩出町にある新義真言宗総本山根来寺）の末寺で「摩頂山圓通寺智光院」という寺院であった。密度のある境内にバランスよく鐘楼と枝垂れ桜が配置されており、その組み合わせとともに、除夜の鐘つきや花見といった地元の人に愛される文化とも相俟って、情緒あふれる景観となっている。今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい景観である。



宮本町



03 杉江能楽堂

2022年に国登録有形文化財に登録された杉江能楽堂は、大正6年に設立され、現存する民間の能楽堂としては、100年の歴史を持つ府内最古のもので松竹梅が書かれている珍しい舞台になっている。現在では能の他に食事処やイベントなどにも利用されるなど歴史や文化を身近に感じる景観である。



岸城町



04 岸和田復活教会

1900年チャニング・M・ウィリアムズ監督(=主教)の管理の下、伝道師三木八十五郎が定住伝道を開始し、岸和田市本町に民家を用いて「日本聖公会岸和田教会」を設立した。レンガの外壁と石畳の道には風情があり、岸和田にレンガ工場が発展していた往年の西洋化の名残が懐かしく、教会ともマッチしている。歴史・文化が次世代へと継承される魅力ある景観である。



岸城町



05 自泉会館

国登録有形文化財になっている自泉会館は、昭和7年に渡辺節の設計により岸和田紡績の社交場として建設された、大阪の綿業会館と同時期のサロン会館である。外観のスパニッシュ様式の建物とそのエントランス部の植栽等しつらえに特徴があり、岸和田の文化を発信し続けている。深く市民生活に溶け込んだ景観である。

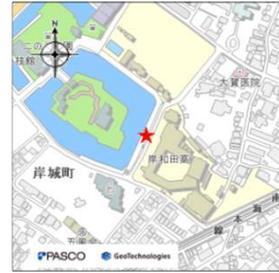


岸城町



06 威風堂々岸和田城

岸和田城は千亀利城とも言われ、続日本百名城にも選ばれており、岸和田のシンボルとなっている。夜に撮られた写真からは、静寂で、水面にも映るライトアップされた岸和田城の貫禄を感じる。季節や時間の移り変わりにより、様々な顔を見せてくれている。市民の思いが詰まっただけでなく、なくてはならない景観のひとつである。



岸城町



07 五風荘庭園と家屋

市指定名勝になっている五風荘庭園は、江戸時代の岸和田城主の新御茶屋や薬草園があった場所に寺田財閥が造園した広大な回遊式庭園である。一般に解放されている美しい庭園には、鯉の泳ぐ池と近代日本建築の粋をこらした柱に節のない母屋とが絶妙に配置されており、和風建築と回遊式庭園が織りなす風景は歴史を感じる景観である。



岸城町



08 旧岸和田村尋常小学校校舎

岸和田市で最初の小学校建築である。国登録有形文化財の旧岸和田村尋常小学校校舎（紅葉館）は、1983年に現在の岸和田市立図書館の場所からまなび中央公園内に復元移築されたものであり、入母屋屋根を用いた寺院建築風の正面玄関は印象的で、様々な教育機関として活躍していたことがしのばれる。歴史のある格調高い建築物であるだけでなく、庭園や小道、水路などの周囲とも良く馴染んでおり、現代につながる歴史を感じていただきたい景観である。



西之内町



09 久米田寺の多宝塔

久米田寺は、春には桜、秋にはだんじり、お正月にはひとの営み景観でも指定されている「干本搦き」など、行事があるときには賑わいを見せるが、普段は静かな佇まいである。池を見守るように鎮座しているこの多宝塔には、京都の東寺より仏舎利が足利直義により奉納され、遺存していた仏舎利をお祀りしているという。春の陽気と岸和田の歴史を色濃く感じさせる景観になっている。



池尻町



10 世界かんがい施設遺産の久米田池

久米田池は、長い歴史や多くの人々によって守られてきたことなどから2015年に世界かんがい施設遺産に登録された。もともと3つの樋から下流の田畑へ配水してきたが、今はそのうちの1つが役目を終えてモニュメントとして保存されており、ウッドデッキから近くで見ることができる。これからも地域住民に愛される景観として継承してもらいたい。



池尻町



11 小金塚古墳

黄金塚住宅にある交差点には、カップケーキを想像させるかわいらしい形の古墳が納まっている。この古墳は、市指定史跡となっており、小さいながらも黄金塚住宅のランドマークとして地域の人々の愛着や親しみが感じられる。これからも地域住民に愛される景観として大切にしてもらいたい。



岡山市



こころに残る景観資源 特別編

こころに残る景観資源 特別編とは、過去に各テーマにのっとして応募があったが、その当時の募集テーマにそぐわない等の理由により指定されなかったものの中から、特に地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と地域価値の向上に寄与するものを、こころに残る景観資源として追加指定したものです。

こころに残る景観資源発掘プロジェクト 応募数と指定数

年度	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
テーマ	樹木	樹木	みち	みち	水辺	水辺	まち	まち	ひとの 営み	眺望	歴史 文化
応募 件数	66	41	24	57	52	61	41	40	49	50	49
指定 件数	6	9	9	12	6	9	9	10	10	9	11

こころに残る景観資源発掘プロジェクト 応募総数 530件 指定件数100件
430件の中から発掘委員会で選考し審議の結果6件を特別編として追加指定。

① 岸和田だんじり祭 灯入れ曳行

だんじり祭りの夜間曳行では、大小多くの提灯がぶら下げられ、ほのかな明かりでライトアップされた幻想的な光景が見られる。昼間の激しさとは打って変わって、やりまわしもなければ走ることもなく、ゆっくりと街を練り歩く。子どもたちが主役となって、だんじりを曳き、鳴物を響かせ、大工方になり、輝いている姿がある。この灯入れ曳行こそ、だんじり祭りが次世代へと受け継がれていく所以である。岸和田の誇りとして継承すべき景観である。

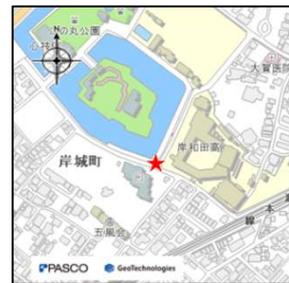


宮本町



② 朝霧に包まれた岸和田城

応募いただいた視点場は、お堀の中で最も近くに天守閣を見上げることのできるポイントになっている。散歩や観光で岸和田城へ訪れる方は沢山いるが、朝霧に包まれた岸和田城を眺めることは容易ではなく、岸和田城の見せる幽玄的で貴重な場面を捉えたものと言えるだろう。この他にも、岸和田城には四季折々の景観があり、地域固有の魅力を感じさせる後世に継承すべき景観である。



岸城町



③ 久米田寺行基参り

僧・行基は、干ばつに悩む農民のために久米田池を造り、それを管理する施設として久米田寺が造られたとされており、農業用水として地域に恩恵を与えている。境内の奥にある開山堂には、静かに行基菩薩像が祀られている。「行基参り」はその功績をたたえて農業豊作の祈願と感謝をするためのもので、昔からの伝統行事であり、今後も受け継がれていかれるであろう。



池尻町



④ 玉ねぎの碑

明治15年頃、神戸の外国商館のアメリカ人より玉ねぎを譲り受け、玉ねぎ栽培をはじめた坂口平三郎の顕彰碑。以後、泉州一帯で玉葱栽培が盛んとなり、泉州の名産品となった。管理が行き届いていないのが残念であるが、背景となる倉、桜の木、水田、民家等との関係も良く、岸和田の歴史と文化を今に伝える景観である。



土生町



⑤ 葛城踊り

葛城踊りは、和泉葛城山頂に鎮座する八大竜王の氏子である山麓の五か村が、雨乞いや降雨に感謝するために奉納した踊りと言われている。コロナ禍で中止となっていたが、2022年、3年ぶりに葛城踊りが奉納された。美しい衣装を身にまとった子供たちが、囃子や笛に合わせて太鼓を打ち、踊る姿は後世に残したい地域固有の魅力を感じさせる景観である。



塔原町

⑥ もみいづる大威徳寺

いくつかの滝が見られることで知られている大威徳寺は、府の名勝に指定されている牛滝山の麓にあり、国の重要文化財にも指定されている多宝塔もある。秋になると赤・黄・緑のグラデーションが美しい紅葉を写真におさめようと多くの人で賑わう。どなたにも触れていただきたい岸和田の景観である。



大沢町





1.旧和泉銀行本店

◆昭和8年(1933年)竣工、施主寺田甚吉、設計渡辺節、施工藤木工務店と伝わる建物で、紀州街道沿いに多く残る近代銀行建築群の一つである。70年間複数の銀行店舗の時代を経て、2005年に有意の人々の努力により復元改修され、現在国登録有形文化財となっている現役のオフィスビルである。(74歳男性)



2.正覚寺の鐘楼と枝垂れ桜

◆岸和田市内には桜を鑑賞できる場所がたくさんありますが、特にこの正覚寺の枝垂れ桜は美しく情緒深いので紹介したいと思います。鐘楼と桜の組み合わせは絵画の中の世界のように歴史を感じさせます。写真はあいにく雨天時に撮影したもので映えませんが、一見の価値がありますのでシーズンには是非足を運んでいただきたいものです。(36歳男性)



3.杉江能楽堂

◆大学時代、当時の堂主谷口公一氏から謡曲を習った。最後の岸和田藩主岡部長職公揮筆の扁額「国華」が正面を飾る。大正6年の建立から百年を超える大阪府下最古の民間能舞台。現在レンタルスペースとしての設備を整え、新しい創作空間への道を模索している。2022年度国登録有形文化財に選定された。(74歳男性)



4.岸和田復活教会

◆小学生の頃姉に誘われ、ウサギが画かれたゆで卵のプレゼントを目当てにクリスマスミサに参加した思い出がある。設立は古く明治34年の日本聖公会岸和田教会、昭和16年本町から現在地に移転、私たちは親しく「岸城町北の教会」と呼んでいた縁に囲まれた蒲洒な教会だが、地域の確かな歴史文化景観を形成している。(74歳女性)



5.自泉会館

◆それは、「失われた近代建築」(講談社)の一冊から始まる。かつて“大大阪時代”の戦前に、大阪ビルディング(略してダイビル)一号館のロマネスク様式の建築、其の上方面にある魍魎魍魎とした動物の顔に心を奪われた。その稀有の建築家の名前は、渡辺節である。当時、最新式のアメリカのビルディング設計をいち早く国内に導入、数々のビルディング、そして名だたる銀行(本店)を建築していった。現存する建物として、綿業会館、商船三井ビル、旧乾邸、そして、あまり知られていない“自泉会館”(国有形)。この城下のもとに人知れずたたずむす珍しいスパニッシュ様式の“自泉会館”をもっと多くの人に知ってほしい。この岸和田にあるとは、誇りである。この建築空間をホール、多目的に活用し、未来へ輝いてほしい。(64歳男性)



6.威風堂々岸和田城

◆大切な人と行った夜の岸和田城が日中と違って感動しました。相方も岸和田城すごいやんって言ってました。(46歳男性)



7.五風荘庭園と家屋

◆小学生の頃「寺田の別荘」の荒れ放題の庭を「探検」した思い出がある。今、回遊式庭園は美しく整備され市民に開放されている。岸和田藩新御茶屋跡に建つ延べ300坪の木造家屋(現在は食事どころ)は、庭に配された三茶室とともに匠技の粋を凝らした日本建築。昭和の戦前戦後の激変を生き延びた歴史文化景観と云える。(74歳男性)



8.旧岸和田村尋常小学校校舎

◆明治36年岸和田城内に造られた最初の小学校校舎。後年城内小学校の南上町移転の後岸城幼稚園他として使用され、昭和27年市立図書館のある場所に移転した岸城幼稚園本校舎は、私も通園した思い出深い御殿風校舎です。市制60周年を記念して中央公園「紅葉館」として移築復元され、平成9年国登録有形文化財となる。(74歳女性)



9.久米田寺の多宝塔

◆とても歴史のある素敵なお寺です。遠くに住んでいるお友達もよく来ると言っていました^ ^高校の日本史の授業でも少し勉強し、興味を持って訪れたことが久米田寺と出会ったきっかけです。(17歳女性)



10.世界かんがい施設遺産の久米田池

◆馴染み深い久米田池が、平成27年に世界かんがい施設遺産に登録されました。子供の頃は池の水が引いた際にザリガニ取りをした記憶があり、今も多くの鳥の姿が見られます。ため池ならではの池底への階段もあります。昔は周辺に田んぼも多くあり、世界かんがい施設遺産に登録されたことは、灌漑施設として地域の大切な役割を担っていたのだなと改めて感じるきっかけになりました。(39歳男性)



11.小金塚古墳

◆黄金塚住宅内に小金塚古墳があります。古墳としての規模も小さく、交差点の中に納まっていますが、市の指定史跡に指定されています。(50歳男性)



◆風土と景観の中に見る素晴らしい灯入れ曳行！こうした時代だからこそ日本の魅力を再認識し未来の発展と環境づくりにと岸和田は輝き続けてください。（84 歳男性） R4応募No.46

①.岸和田だんじり祭 灯入れ曳行



②.朝霧に包まれた岸和田城

◆その日も市場に野菜の仕入れに行っていたのですが、段々と海の方から霧が発生。前方の信号もかすんで見えます。ゴールデンウィーク明けで忙しいのですが、気持ちちはやり、仕入れは簡単に済ませて、岸和田城へ 結果がこの写真です。雪の積もったお城は何度も見た事がありますが、こんな霧に包まれた岸和田城は初めてでした。スマホで数枚撮影しました。数時間後には 見事な晴天になっていました。梅雨入り前に気温も高くこのような現象が起こったのだと思います。不思議な空間でした。（58 歳男性） R3応募No.2



③.久米田寺行基参り

◆寺に13 台のだんじりが入る 日本でも珍しい祭り（57 歳男性） R4応募No.6



④.玉ねぎの碑

◆府道岸和田港塔原線沿いにひっそりと佇む玉ねぎの碑。地域の人々により維持され、傍らにはきれいな桜が咲いていました。（48 歳男性） H30応募No.24



⑤.葛城踊り

◆国、及び各地方自治体、全国津々浦々の集落も少子高齢化により、今や限界自治体や、集落が広がりつつある。これに伴い、古くからその地域・集落に伝わる伝統芸能も、衰退、また消えゆく運命のものもある。当市の、葛城山麓の真下にある「塔原町」（戸数三十五戸）に伝わる「葛城おどり」無形文化財を紹介したい。盆おどりの一つで、毎年八月十四日、町の中心地の「弥勒寺」の境内に於いて、音頭（車おどり・大山おどり）に合わせ、横笛、舞人は、稚児が花笠を被り、鼓を打ち鳴らし、おどるのである。最盛期は、稚児も十数人居たという。現在は、僅か三名と危機。保存会により、その保存に必死ということである。稚児が跳ね 鼓やさしき 笠おどり 俳号 赤心子（79 歳男性） H31応募No.13



⑥. もみいづる 大威徳寺

◆昨年岸和田市のイベントで訪れたときに撮った写真です。この角度から見たり写真を撮ったりする人が多い気がします。岸和田市にずっと住んでいますが、紅葉の時の大威徳寺に初めて来ました。まさに岸和田市の紅葉の名所ですね。秋の紅葉はもちろんきれいです。夏も涼しくて気持ちいいです。市内外問わず、たくさんの人に知ってほしいと思いました。（22 歳女性） H30応募No.21

こころに残る景観資源 これまでの指定資源一覧

こころに残る樹木景観 15件指定

実施年度
平成24年、平成25年

- 01_中央小学校のエノキ
- 02_二の丸公園 マツ
- 03_岸和田城堀端の桜並木
- 04_上町の楠
- 05_中央公園のモミジバフウ
- 06_中央公園のポプラ並木
- 07_吉井町のエノキ
- 08_西向寺のいぶき
- 09_流木墓園の桜並木
- 10_奥家の棕
- 11_蜻蛉池公園のヤナギ
- 12_蜻蛉池公園のメタセコイア
- 13_積川神社の棕と楠
- 14_大沢神社の杉
- 15_塔原町・サクラ



こころに残るみち景観 21件指定

実施年度
平成26年、平成27年



- 01_岸和田大橋 (阪神高速湾岸線)
- 02_岸和田港を臨むみち
- 03_堺町のだんじり小屋横
- 04_お寺の道 (本町紀州街道)
- 05_南町のみち (紀州街道)
- 06_春を待つ岸和田城の桜道
- 07_春木川遊歩道 (兵主神社横)

- 08_久米田寺へ続くみち
- 09_久米田池遊歩道 (平成26年度指定分)
- 10_久米田池遊歩道 (平成27年度指定分)
- 11_東ヶ丘町グリーンパルクロード・花絨毯
- 12_流木墓園桜並木みち
- 13_阿間河滝の阿弥陀寺への参道
- 14_包近楠本神社もも花参道

- 15_福田町のまちなみ
- 16_牛滝街道 (積川町)
- 17_バラの小道 (蜻蛉池公園)
- 18_メタセコイアの小道 (蜻蛉池公園)
- 19_相川ほたる遊歩道
- 20_牛滝いよやかの郷散策道
- 21_和泉葛城山登山道

こころに残る水辺景観 15件指定

実施年度
平成28年、平成29年

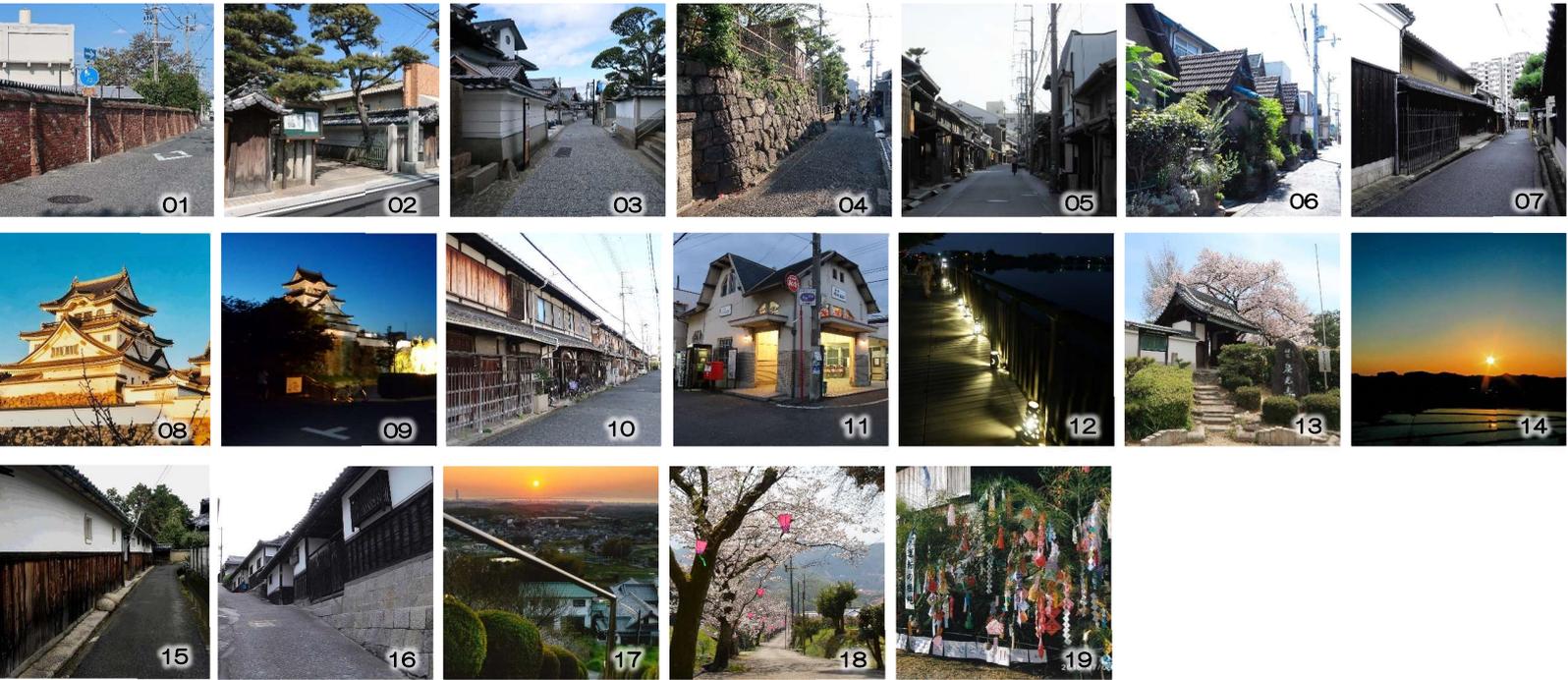


- 01_はためく岸和田漁港大漁旗雄々しく
- 02_お堀と城下町
- 03_岸和田城を彩る夏の華
- 04_岸和田城水辺
- 05_久米田池の幻想的なハーモニー
- 06_水鳥と久米田池
- 07_山直中町 錦秋のスリバチ池
- 08_田治米町 ポピー咲くセツ池

- 09_蜻蛉池公園大池の水鏡
- 10_積川町 水路のある古の町並み
- 11_意賀美神社横 雨降り時の滝
- 12_内畑町 田んぼへの水引きの始まり
- 13_大沢町 サギも降り立つ棚田
- 14_牛滝山大威徳寺 一の滝
- 15_牛滝の谷にそそぐ錦流の滝

こころに残るまち景観 19件指定

実施年度
平成30年、平成31年



- 01_時を越えて
(春木中学校の赤レンガ塀)
- 02_春木西福寺
- 03_北町 寺町筋
- 04_中町 城跡の名残り
- 05_本町のまちなみ
- 06_岸城町 マンサード長屋

- 08_元旦の朝日に映える岸和田城
- 09_輝く岸和田城
- 10_岸城町 十六軒長屋
- 11_蛸地蔵伝説を伝えるレトロ建築
(南海蛸地蔵駅)
- 12_久米田池の夏祭り
- 13_泉光寺と桜

- 14_日没前 (山直南地区)
- 15_積川町 元本街道のまちなみ
- 16_阿間河滝町 長屋門坂
- 17_夕暮れの北阪
- 18_神於寺の参道
- 19_白原峠の星祭り (東葛城にて)

こころに残るひとの営み景観 10件指定

実施年度
令和2年

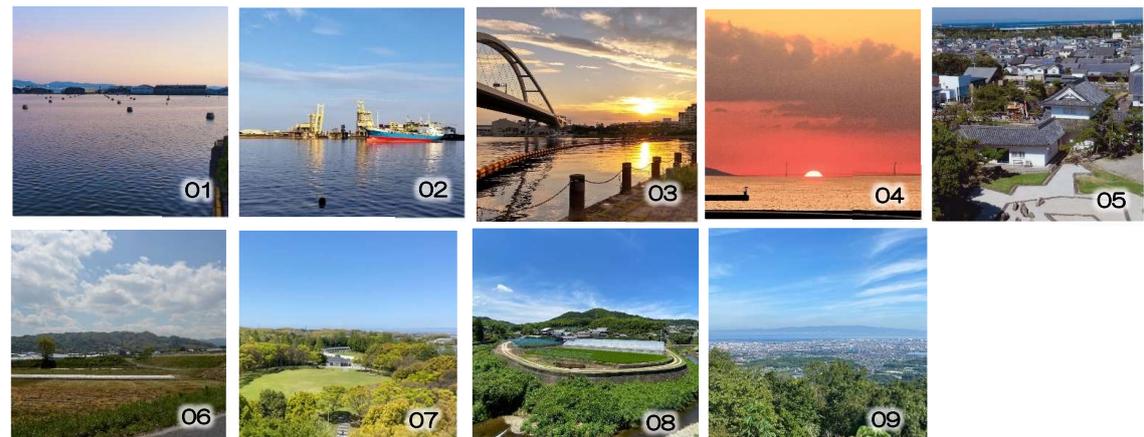
- 01_たくさん釣りたい
- 02_春の訪れを告げる「いかなご」漁
- 03_農業まつり
- 04_岸和田観音 節分
- 05_頼もしい応援団と歴史的なまちなみ (本町)
- 06_岸和田城とだんじり祭り
- 07_古代の人々の営みを思い私たちは確かめる
- 08_久米田寺千本搦き
- 09_田を潤す久米田池
- 010_東葛城小学校・幼稚園
(東葛ふれあいファーム)
の田植えの風景



こころに残る眺望景観 9件指定

実施年度
令和3年

- 01_木材町の貯木場周辺
- 02_岸和田カンカンベイサイドの岸和田水門
- 03_岸和田カンカンベイサイドの日の出の風景
- 04_地蔵浜の夕景
- 05_望郷～岸和田城の天守閣から～
- 06_神於山
- 07_蜻蛉池公園の展望台
- 08_内畑町の橋から
- 09_神於山の展望台から



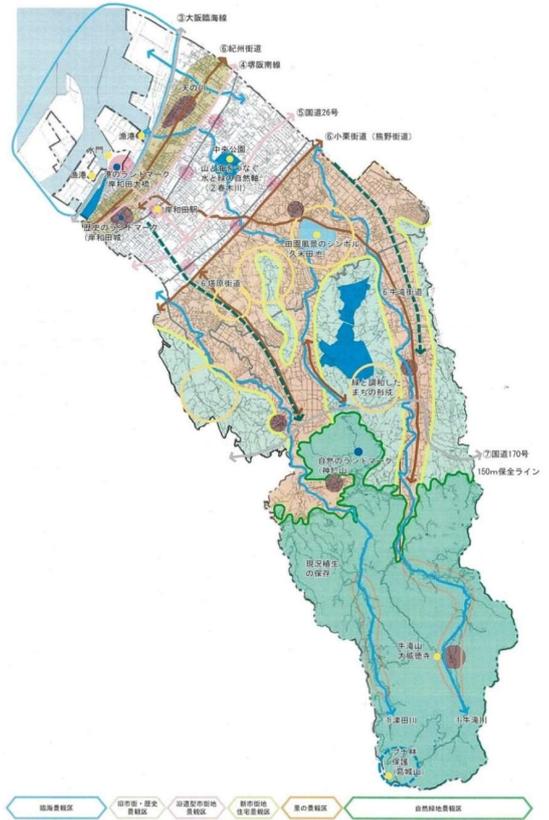
プロジェクトの系譜

岸和田市景観計画

岸和田市景観計画は、恵まれた自然・歴史・文化資産を活かし、岸和田市にふさわしい風格ある景観づくりに努めることで、更に岸和田らしい魅力あふれた快適なまちとして、これを次代の市民、事業者を引き継いでいくことを目的に策定しています。

景観形成の基本目標である『豊かな自然環境と歴史的環境が織り成す「個性的快適環境都市」の創生』を実現するためには、市民、事業者、行政が総合的かつ多面的にお互いの立場を理解しながら協力し、優れた景観をまもり、はぐくみ、つくりだし、次の世代へつないでいく必要があります。

基本景観区	主な土地利用
臨海景観区	工業、港湾
旧市街・歴史景観区	住宅、商業
沿道型市街地景観区	住宅、商業、工業
新市街地住宅景観区	住宅、商業
里の景観区	農地、樹林地
自然緑地景観区	樹林地



こころに残る景観資源発掘プロジェクト

こころに残る景観資源発掘プロジェクトは、景観啓発の取組として、地域の核となる資源を発掘し、その情報を蓄積、共有していくことで地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と地域価値の向上に寄与するなどの効果を創出する事を目的に平成24年度から令和4年度まで実施し、景観資源として106件を指定しました。

樹木景観15件、みち景観21件、水辺景観15件、まち景観19件、ひとの営み景観10件、眺望景観9件、歴史・文化景観11件、特別編6件



まちかど審査の様子

プロジェクトの流れ



「未来へつむぐ物語」

「景観十年・風景百年・風土千年」と言われるように、私たちの日々の営みが、いつか時を経て、風土としてその土地に息づくことを想定しながら、「未来につなぐ」景観形成に取り組むことが重要だと考えられます。これまで、優れた景観形成に寄与する地域の人々に大切に守られてきた「樹木」「みち」「水辺」「まち」「ひとの営み」「眺望」「歴史・文化」について景観資源を発掘し、その情報を蓄積、共有に努めています。

「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」の詳しい内容は岸和田市ホームページからご覧いただけます。

岸和田市こころに残る景観資源

検索



2030年に向けて世界が共有した「持続可能な開発目標」です。

問合せ先：岸和田市まちづくり推進部都市計画課 景観担当
〒596-8510 岸和田市岸城町7-1 ☎072-423-9538 (直通)

こころに残る景観資源発掘プロジェクトはこちら